

谷口清 年譜・研究業績



谷口・清 (やぐち・きよし)

〈経歴〉

		1987年 4月	嘱託(1987年3月まで) 秋田大学 教育学部(教育文化学部) 助教授・教授(2001年3月まで)
1949年 8月	埼玉県北葛飾郡早稲田村(現三郷市)に生まれる	1989年 4月	聖園学園短期大学 非常勤講師(1991年3月まで)
1968年 3月	埼玉県立春日部高等学校卒業	1995年 4月	茨城大学 教育学部 非常勤講師(1996年3月まで)
1974年 3月	東京教育大学 教育学部 心理学科卒業	1995年 4月	山形大学 教育学部(地域教育文化学部)非常勤講師(2006年9月まで)
1978年 3月	東京教育大学大学院 教育学研究科 実験心理学専攻 修士 修了	1998年 5月	ハーバード大学大学院教育学研究科及びヘルシンキ大学心理学科客員研究員(文部省在外研究員1999年3月まで)
1981年 3月	東北大学 教育学研究科 教育心理学専攻 博士後期 単位取得満期退学	2000年 4月	上越教育大学 学校教育学部 講師(隔年)(2007年3月まで)
1981年 4月	日本学術振興会 奨励研究員(1982年3月まで)	2001年 4月	東京慈恵会医科大学 医学部医学科 教授(2005年3月まで)
1983年 4月	宮城教育大学 教育学部 非常勤講師(1987年3月まで)	2001年12月	埼玉県 教育委員会 スクールカウンセラー(2003年3月まで)
1984年 4月	社会福祉法人 仙台キリスト教育児院 心理嘱託(1987年3月まで)	2002年 4月	中央大学 文学部 非常勤講師(2006年3月まで)
1984年 7月	桃仙園内科・神経科クリニック カウンセラー(1987年3月まで)	2002年12月	筑波大学 人間学類 非常勤講師(2003年3月まで)
1985年 3月	教育学博士(東北大学)		
1985年 4月	神経精神科・内科東北病院 心理嘱託(1987年3月まで)		
1986年 4月	仙台市心身障害者相談センター		

2003年 4月	弘前大学 教育学部 非常勤講師 (2003年9月まで)	2008年 6月	三郷市教育委員会 就学支援委員 (現在に至る)
2005年 4月	東京慈恵会医科大学 医学部精神 医学講座 講義担当講師 (現在に 至る)	2008年10月	社会福祉法人 緑の風 評議員 (現在に至る)
2005年 4月	文教大学 人間科学部 教授 (現在 に至る)	2009年11月	草加市 介護保険推進委員会委員 (2011年10月まで)
2006年 4月	文教大学大学院人間科学研究科臨 床心理学専攻長(2009年3月まで)	2010年 5月	三郷市教育委員会 学校評議員 (2013年3月まで)
2007年 4月	文教大学大学審議会委員(2013年 3月まで)	2010年 6月	三郷市教育委員会 三郷市立早 稲田小学校学校関係者評価委員 (2012年3月まで)
2007年10月	弘前大学 教育学部 講師 (2008年 2月まで)	2010年 8月	財団法人日本臨床心理士資格認定 協会 評議員(2012年7月まで)
2009年 4月	三郷市 教育委員会 教育相談室カ ウンセラー (現在に至る)	2011年11月	社会福祉法人 緑の風福祉会理事 長(2015年10月まで)
2013年 4月	文教大学人間科学部長(2016年5 月まで)	2012年 5月	日本生理心理学会優秀論文賞選考 委員(2013年5月まで)
2018年10月	千葉県立保健医療大学 健康科学 部 非常勤講師 (現在に至る)	2012年10月	日本理論心理学会第58回大会準 備委員長

〈学会及び社会における活動等〉

(所属学会) 日本心理学会(議員)、日本生理心理
学会、日本発達心理学会、日本心理臨床学会、日
本教育心理学会、認知神経科学会(評議員)、他

1995年 9月	日本特殊教育学会第33回大会準 備委員会事務局長	2012年12月	三郷市 保育審議会委員(2014年 11月まで)
1999年 4月	秋田県立脳血管研究センター 医 薬品受託研究審査委員会委員 (2001年3月まで)	2013年 7月	埼玉県 発達障害者支援体制整備 検討委員会委員(委員長)(2015年 3月まで)
2003年 7月	三郷市教育委員会学校教育相談ア ドバイザー(2007年6月まで)	2013年 9月	社会福祉法人昴 平成25年度障 害者総合福祉推進事業検討委員会 委員(2014年3月まで)
2006年 5月	日本生理心理学会優秀論文賞選 考委員(2007年度選考委員長,2008 年5月まで)	2016年 4月	埼玉県 障害者介護給付等不服審 査会委員(会長)(現在に至る)
2007年 7月	三郷市 男女共同参画審議会委員 (2019年6月まで)	2017年 3月	三郷市教育委員会 いじめ問題等 調査委員会委員長(現在に至る)
2007年11月	埼玉県 発達障害者支援開発企 画・推進委員会委員(委員長)(2010 年3月まで)	2019年 5月	第37回日本生理心理学会大会会長
		2019年 7月	三郷市教育委員会 三郷市立小中 学校教育環境整備計画改定及び三 郷市学校選択制検討懇話会委員 (現在に至る)

〈著書等〉

I. 著書・訳書

1. 人間発達の生理と障害, 分担執筆, 1985年11
月, 青木書店, 鈴木宏哉・池田由紀江他

2. 学齢児童及び精神遅滞児の脳の成熟と障害：脳波光駆動反応の追跡記録, 単著, 1990年2月, 風間書房
 3. 発達障害学の探究, 分担執筆, 1993年4月, 文理閣, 松野豊・片桐和雄・西村学・谷口清他
 4. 障害児の発達と学習, 分担執筆, 1995年4月, コレール社, 清野茂博・田中道治・谷口清他
 5. 障害児心理学, 分担執筆, 1998年4月, 全障研出版部, 松野豊・茂木俊彦編著
 6. 講座臨床心理学 3.異常心理学I, 分担執筆, 2002年, 東京大学出版会, 下山晴彦・丹野義彦編
 7. 発達障害児の病理と心理, 共著, 2003年, 培風館, 黒田吉孝・小松秀茂編
 8. 自閉症スペクトラム児・者の理解と支援－医療・教育・福祉・心理・アセスメントの基礎知識－, 分担執筆, 2005年10月, 教育出版, 日本自閉症スペクトラム学会 編
 9. 新・心理学の基礎知識, 分担執筆, 2005年, 有斐閣, 中島義明・繁榊算男・箱田裕司他編
 10. スクールカウンセラー活用マニュアル, 共編著, 2005年, コレール社(東京), 細川廣・藤原一夫・谷口清他
 11. 発達科学：「発達」への学際的アプローチ, 共訳(分担), 2006年12月, プレーン出版, 本田時雄・高梨一彦(監訳), 4章 発達の心理生物学説
 12. 自閉症スペクトラム辞典, 分担執筆, 2012年3月, 教育出版, 日本自閉症スペクトラム学会
 13. 高齢者のこころとからだ事典, 分担執筆, 2014年9月, 中央法規, 大川一郎他, 障害・身体障害(聴覚障害・言語障害)
 14. 生理心理学と精神生理学 I, 分担執筆, 2017年5月, 北大路書房, 堀忠雄・尾崎久記(監修) 坂田省吾・山田富美雄(編), 脳科学としての生理心理学研究法、5節発達の観点：経験・記憶・発達の神経メカニズム
 15. 発達臨床心理学：脳・心・社会からの子どもの理解と支援, 単著, 2018年3月, 遠見書房
 16. 家族心理学ハンドブック, 分担執筆, 2019年1月, 金子書房, 家族心理学会(編), 脳の発達とアタッチメント
- ## II. 論文・その他
1. Temporal sequence of frequency specific and nonspecific effects of flickering lights upon the occipital electrical activity in man. 共著, 1976年1月, Brain Research (107巻), Kiyoshi Yaguchi, Shinkuro Iwahara, 27-38
 2. アルファー阻止と光駆動の時間的变化, 共著, 1976年1月, 臨床脳波(永井書店)(18巻), 岩原信九郎・谷口清, 53-57
 3. 精神遅滞と脳波, 単著, 1980年3月, 東北心理科学研究(3巻), 39-49
 4. A statistical method of component identification of average evoked potentials. 共著, 1981年2月, Electroenceph. clin. Neurophysiol (Elsevier) (51巻), Hisao Kobayashi, Kiyoshi Yaguchi, 213-214
 5. 小児脳波発達と知能障害児の脳波：安静時基礎波と光駆動脳波を中心にして, 単著, 1981年9月, 心理科学(5巻), 21-31
 6. 小児聴覚誘発電位のN1成分にみられる発達的特徴, 共著, 1982年7月, 脳波と筋電図(10巻), 小池敏英・谷口清・堅田明義・尾崎久記・鈴木宏哉, 216-222
 7. 学童における後頭部光駆動脳波の発達の検討：安静時脳波との関係で, 単著, 1983年6月, 基礎心理学研究(2巻), 9-16
 8. 幼児自閉症、ダウン症候群の脳波学的研究：特に光駆動反応について, 共著, 1984年7月, 精神医学(医学書院)(26巻), 斎藤英光・松岡洋夫・松江克彦・大熊輝夫・谷口清他, 747-756
 9. 我が国における発達障害の早期対応の現状と心理学の課題, 単著, 1984年9月, 障害者問題研究(39巻), 55-61
 10. 知恵おくれの子どもの予測活動の発達の特長と障害, 共著, 1985年5月, 障害者問題研究(42巻), 谷口清・野口和人・松野豊, 57-67
 11. 滑動性追跡眼球運動障害の定量的自動解析法, 共著, 1985年5月, 臨床脳波(27巻), 姉齒秀平・松江克彦・大熊輝夫・谷口清, 275-282

12. 点滅図形刺激による光駆動反応の発達の研究-正常児童及び健全成人についての観察-, 共著, 1986年4月, 脳波と筋電図(4巻), 富山俊治・斎藤秀光・松江克彦・大熊輝夫・谷口清, 141-148
13. Trends in educational psychology in japan, 共著, 1987年3月, 教育心理学年報(26巻), 松野豊・神常雄・黒須俊夫・谷口清, 137-150
14. 知的障害児の教育-早期教育への取り組みを中心として-, 単著, 1988年6月, 児童心理学の進歩(27巻), 214-237
15. 脳波発生機構と光駆動反応-非線形振動子説を中心に-, 単著, 1989年2月, 秋田大学教育学部研究紀要・教育科学(40巻), 1-17
16. 脳波、光駆動反応からみた脳の発達と障害-学齢期を中心にして-, 単著, 1990年2月, 秋田大学教育学部研究紀要、教育科学(41巻), 47-61
17. 我が国の最近1年間における教育心理学の研究動向と展望-精神発達障害に関する早期対応の問題を中心に-, 単著, 1991年3月, 教育心理学年報(日本教育心理学会)(30巻), 109-117
18. 人間の情報処理システムの形成と情報入力-神経回路形成における遺伝と環境-, 単著, 1993年5月, 秋田大学総合科目研究紀要「情報科学入門」, 24-37
19. 認知過程分析システムの構成とその計測例, 共著, 1994年3月, 秋田大学教育学部教育学研究報告(16巻), 谷口清・篠田伸夫, 89-99
20. 秋田県における乳幼児健診-各市町村担当保健婦へのアンケート調査から-, 共著, 1995年1月, 秋田大学教育学部研究紀要(46巻), 谷口清・今野和夫・倉田正義・川村秀忠
21. 自閉症児の認知特性-推論機構を中心に-, 共著, 1996年3月, 秋田県特殊教育学会会報(10・11巻), 金野修子・谷口清, 20-27
22. Habituation, generalization, and dishabituation of event related potentials using three different kind of faces as stimuli. 共著, 1996年10月, Recent Advances in Event Related Brain Potential Research (Elsevier), Kiyoshi Yaguchi, Akiko Suzuki, Masaaki Ise, Paul Langman, 283-287
23. Habituation, generalization, and dishabituation of event related potentials using three different alphabetic fonts. 共著, 1996年10月, Recent Advances in Event Related Brain Potential Research (Elsevier), Paul Langman, Masaaki Ise, Kiyoshi Yaguchi, 221-226
24. PETと脳波トポグラフィによる後方連合野のイメージング, 共著, 1997年6月, 神経心理学(13巻2号), 長田乾・谷口清・横山絵里子・Melis Senova, Robert J. Buchan, 24-33
25. Regional brain activity during face and word discrimination. 共著, 1998年2月, Brain Topography Today (Elsevier), Kiyoshi Yaguchi, Ken Nagata, Paul Langman, Masaaki Ise, Melis Senova, Robert J. Buchan, Eriko Yokoyama, 283-287
26. 思春期の摂食障害の子供に対する学級担任としての対応事例, 共著, 1998年3月, 秋田大学教育学部教育学研究報告(20巻), 安倍千春・谷口清・本間恵美子, 63-75
27. 健常幼児および知的障害児における言語の行動調整機能, 共著, 1998年10月, 特殊教育学研究(36巻3号), 諸岡美佳・谷口清・神常雄・松野豊, 11-21
28. 自閉症の神経生物学-症候論から原因論へ-, 単著, 1998年11月, 障害者問題研究(26巻2号), 265-275
29. 不登校生徒のストレスマネジメント-社会的スキルとSelf-esteemの視点から-, 共著, 2000年3月, 秋田大学教育文化学部教育実践研究紀要(22巻), 曾山和彦・谷口清・本間恵美子, 61-70
30. Regional brain activity during face and word discrimination: simultaneous recording of event-related potentials and positron emission tomography. 共著, 2000年4月, Japanese Psychological Research (日本心理学会)(42巻), Kiyoshi Yaguchi, Ken Nagata, Iwao Kanno, Masaaki Ise, Eriko Yokoyama, Paul Langman, 45-53

31. 学習障害 (LD)・特別な教育的ニーズとインクルージョン, 単著, 2000年7月, 障害者問題研究 (28巻2号), 100-112
32. 脳波マッピングとPETの時間的・空間的相関, 共著, 2001年1月, 臨床脳波 (43巻), 長田乾・谷口清, 1-8
33. Children's auditory event-related potentials index stimulus complexity and "speechness". 共著, 2001年, International J. of Neuroscience (109巻), Ceponiene R., Shestakova A., Balan P., Alku P., Kiyoshi Yaguchi, Naatanen R., 245-260
34. 自閉性障害教育の在り方を探る-合衆国ボストン近郊の自閉症専門校の発行資料から-, 共著, 2001年, 自閉性障害のある児童生徒の教育に関する研究 特集自閉症児の特別支援教育の在り方に関する研究 (4巻), 林恵津子・谷口清, 41-54
35. Involuntary attention in children as a function of sound source location: evidence from event-related potentials. 共著, 2002年, Clinical Neurophysiology; 113, Shestakova A., Ceponienel R., Houtilainen M., Yaguchi K., 162-168
36. Sound complexity and "speechness" effects on pre-attentive auditory discrimination in children. 共著, 2002年, International J. of Psychophysiology (43巻), Ceponiene R., Kiyoshi Yaguchi, Shestakova A., Alku P., Suominen K., Naatanen R., 199-211
37. Speech-sound selective auditory impairment in autism: can perceive but do not attend. 共著, 2003年, Proceedings National Academy of Science (PNAS) 100, Ceponiene, R., Lepistö, T., Shestakova, A., Vanhala, R., Alku, P., Näätänen, R., Yaguchi, 5567-5572
38. Eye contact does not facilitate detection in children with autism. 共著, 2003年, Cognition 89, Senju, A., Yaguchi, K., Tojo, Y., Hasegawa, T., B43-B51
39. 不登校中学生のセルフエスティーム、社会的スキルがストレス反応におよぼす影響, 共著, 2004年, 特殊教育学研究 (42巻), 曾山和彦・本間恵美子・谷口清, 23-33
40. 自閉症の認知障害と社会脳仮説, 単著, 2004年, 認知神経科学 (6巻3号), 71-76
41. 自閉症スペクトラムの障害理解とアセスメント, 共著, 2005年, 自閉症スペクトラム研究 (4巻), 谷口清・東條吉邦, 33-41
42. Deviant gaze processing in children with autism: an ERP study. 共著, 2005年, Neuropsychologia (43巻), Senju, A., Tojo, Y., Yaguchi, K., Hasegawa, T., 1297-1306
43. 自閉症の音韻知覚と社会性障害, 単著, 2007年7月, 心理学評論 (50巻1号), 64-77
44. Omega-3多価不飽和脂肪酸の摂取とうつを中心とした精神的健康との関連性について探索的検討-最近の研究動向のレビューを中心に-, 共著, 2008年, 人間科学研究 (30巻), 岡田斉・萩谷久美子・石原俊一・谷口清・中島滋, 87-96
45. 教室の気がかりな子をどう支援につなげるか-保護者と教師のやり取りの分析-, 共著, 2009年3月, 人間科学研究 (31巻), 謝敷智美・谷口清, 173-188
46. スクールカウンセラー活動の継続を支える要因-M-GTAを用いた質的研究-, 共著, 2009年3月, 人間科学研究 (31巻), 岡本かおり・谷口清, 161-172
47. 共生コミュニティとしての文教大学の形成, 共著, 2010年3月, 2009年度文教大学学長調整金「教育・研究環境整備計画」報告書, 谷口清・大木桃代・岸田直子・椎名健・八藤後忠夫
48. 生涯学習の実践的学習方法についての研究-諸方法の実際とその意義・効果について-, 共著, 2011年3月, 人間科学研究 (32巻), 佐藤啓子・岡本かおり・谷口清・宮田浩二・野島正也, 105-154
49. 障害学生の学習支援にかかわる学内の環境整備について-文教大学越谷校舎の場合-, 共著, 2011年, 教育研究所紀要 (20巻), 武田和恵・米津光治・八藤後忠夫・谷口清, 81-90
50. 発達における遺伝と環境の相互作用-発達の

- 心理生物学と発達科学, 単著, 2012年3月, 人間科学研究 (33巻), 55-63
51. 学校不適応と育児・家庭-学校・子育て支援担当者への聞き取り調査から-, 単著, 2012年3月, 文教大学 生活科学研究 (34巻), 91-105
 52. 発達の心理生物学と発達科学:Gottliebの生物学的発達論, 単著, 2012年10月, 生涯発達心理学研究 (白百合女子大学生涯発達研究教育センター) (4巻), 7-18
 53. ω 3多価不飽和脂肪酸の摂取量とうつの関連性, 共著, 2013年1月, 臨床栄養 (122巻1号), 萩谷久美子・岡田斉・石原俊一・谷口清・中島滋, 95-99
 54. 学齢期におけるいじめ・対人トラブルと発達障害, 単著, 2013年3月, 自閉症スペクトラム研究 (10巻), 19-27
 55. 長期欠席と不登校の背景因子-相談担当者への聞き取り調査から-, 共著, 2014年3月, 人間科学研究 (35巻), 谷口清・小柴孝子, 121-128
 56. アタッチメントの形成と脳-パーソナリティ発達のメカニズムを考える-, 単著, 2016年12月, 心理科学 (37巻), 38-47
 57. 言語音のピッチ変化に対する自閉症スペクトラム児の知覚過程, 共著, 2017年3月, 人間科学研究 (38巻), 諸橋茜・谷口清, 187-197
 58. ⑩神経・生理心理学, 単著, 2017年8月, こころの科学2017特集号「公認心理師入門:知識と技術」, 44-47
 59. 基礎心理学 ⑩ 神経・生理心理学, 単著, 2018年8月, こころの科学 「公認心理師養成大学・大学院ガイド」, 15-
 60. 乳幼児期の脳発達とアタッチメントの形成, 単著, 2018年10月, 教育と医学 (66巻10号), 32-39
 61. ⑩神経・生理心理学, 単著, 2019年6月, こころの科学増刊「公認心理師試験の問題と解説2019」, 59-62
- Ⅲ. 研究発表等
(2000年以降:国内学会一般報告・依頼講演を除く)
- ・ P300 low amplitude in the children with high function autism during vowel discrimination task. 2002年, ISBET2002 (Naples), K. Yaguchi, Y. Tojo, P. Langman, R. Ceponiene, A. Shestakova, R. Naatanen
 - ・ The children with high function autism have normal MMN and P3a but low P3b amplitude: ERP during vowel discrimination task. 2003年 Social Brain (Goteborg) K. Yaguchi, Y. Tojo, A. Senju, H. Shinoda, P. Alku, R. Ceponiene, A. Shestakova, R. Naatanen
 - ・ 自閉症の社会性障害の他覚的指標の確立に関する基礎的研究, 2003年, 平成12年度-14年度科学研究費補助金 (基盤研究 (B) (1)) 研究成果報告書, 谷口清 (編)
 - ・ 【シンポジウム】 情動・認知と社会脳: 自閉症の神経心理学, 2004年, 第15回日本発達心理学会大会 (東京) シンポジウム「心の理論」の発生の起源をめぐって 報告 谷口清
 - ・ 自閉症児は他者の動きをどのように知覚するか - 事象関連電位法による検討 -, 2004年, 平成13年度~15年度科学研究費補助金 (基盤研究 (B) (2)) 研究成果報告書, 山本優美・千住淳・平井真洋・谷口清・東條吉邦・大六一志
 - ・ 自閉症児の社会性障害に関する生理心理学的研究 - 語音識別反応と事象関連電位 -, 2004年, 平成13年度~15年度科学研究費補助金 (基盤研究 (B) (2)) 研究成果報告書, 谷口清・千住淳・東條吉邦
 - ・ Why vowel familiarity does not facilitate the discrimination in autism?, 2004年, International Conference of Psychology (北京), K. Yaguchi, Y. Tojo, A. Senju, R. Ceponiene, R. Naatanen
 - ・ 【自主シンポジウム】 特別支援教育とスクールカウンセリング, 2005年, 日本特殊教育学会第43回大会 (金沢), 谷口清・佐藤正恵・廣瀬由美子・浜谷直人・細川廣
 - ・ P300 of high-function autism during familiar and unfamiliar vowel discrimination task. 2005年, 35th Neuroscience Meeting (Washington, DC), K. Yaguchi, Y. Tojo

- ・ P300 amplitude dissociation between auditory and visual oddball paradigm in the children with high function autism. 2006年7月, 5th Forum of European Neuroscience (Viena), Yaguchi, K., Tojo, Y., Senju, A
- ・ 【シンポジウム】自閉症スペクトラムの対人認知と社会性障害：発達心理学と認知神経科学の対話, 2006年8月, 第5回日本自閉症学会大会シンポジウム, 谷口清・熊谷高幸・神尾陽子・千住淳・宮尾益知・伊藤良子
- ・ 【シンポジウム】発達の脳メカニズムと教育：自閉症の社会脳仮説にふれながら, 2007年9月, 日本教育心理学会第49回総会シンポジウム「子ども育てと脳科学」, 谷口清
- ・ 【シンポジウム】自閉症スペクトラムの音韻感受性-事象関連電位を指標として- 2008年第38回日本臨床神経生理学会学術大会シンポジウム「自閉症スペクトラム」, 谷口清
- ・ Acoustic sensitivity of high function autism: An event related potential study. 2009年, Neuroscience Meeting (Chicago), Kiyoshi Yaguchi, Akane Morohashi, Yoshikuni Tojo, Masao Yukie, Daiichiro Nakahara
- ・ 共生コミュニティとしての文教大学の形成-障害学生学習・研究支援システムの構築-, 2010年3月, 2009年度文教大学学長調整金報告書, 谷口清・大木桃代・岸田直子・椎名健・八藤後忠夫
- ・ Does the autism spectrum disorder show different laterality from the typically developed person? : an Event Related Potential (ERP) study. 2010年7月 7th Forum of European Neuroscience (Amsterdam) Kiyoshi Yaguchi, Akane Morohashi, Uta Tanaka, Daiichiro Nakahara, Masao Yukie, and Yoshikuni Tojo
- ・ 心理学における共感研究の課題: 世代の継承と心理学の理論的課題, 2013年3月, 平成24年度文教大学人間科学部共同研究・大学院人間科学研究科共同研究報告書, 谷口清・岡村達也・石原俊一・二村英幸
- ・ 子どもたちの健やかな心をはぐくみコミュニティ作り-子ども・家庭の危機と家族支援-, 2014年2月, 文教大学第4回地域連携フォーラム・シンポジウム報告書, 谷口清・関井友子・布柴靖枝・桜井慶一・神田信彦
- ・ 【シンポジウム】発達とその障害への生物学的アプローチ, 2014年3月, 日本発達心理学会第25回大会(京都)出版企画委員会 シンポジウム「隣接領域の統合と発達科学を目指して-発達心理学の理論・方法論の検討」報告
- ・ 「ありのままに」をどう支えるか-困難を抱えた家族・家庭を支援するシステム作り-, 2015年2月, 文教大学第5回地域連携フォーラム・シンポジウム報告書, 谷口清・藤原一夫・関井友子・成田奈緒子・福田はぎの・神田信彦
- ・ 文教大学越谷校舎における障害学生の実態把握と支援方策の提言, 2018年1月, 2016年度文教大学教育学部共同研究報告書, 星野常夫・八藤後忠夫・成田奈緒子・小野里美帆・谷口清
- ・ Analysis of ERPs to pleasant and unpleasant IAPS pictures and their scrambled ones in human visual areas. 2018年7月, 11th FENS Forum of Neuroscience, (Berlin), Kiyoshi Yaguchi, Mizuki Numata, Toru Tazumi, Masao Yukie
- ・ 公認心理師時代の生理心理学-心理学教育の視点から-, 2019年10月, 第37回日本生理心理学会大会公開シンポジウム報告書, 谷口清・子安増生・大平英樹・室橋春光・小川時洋・野島一彦